

国際ロータリー第2560地区  
ガバナーテーマ

「クラブと地区の  
変革をめざそう」

高田ロータリー今年の  
スローガン

「しなやかな変化で  
奉仕を高めましょう」



ロータリー：  
変化をもたらす

2017～2018年度

国際ロータリー会長 イアンH.S.ライズリー  
2560地区ガバナー 新保 清久  
高田ロータリー会長 橋詰 敏一  
幹事 田中 正人

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号  
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534  
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp  
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員  
箕輪 賢一 堀井 靖功 渡邊 隆 山田 守  
小池 猛紀

## 第21回例会 ■ 12月15日(金)

No.21

### 会長挨拶 ● 橋詰 敏一



先週は、クラブ総会に皆様の協力・御理解を賜わり、無事に終了させていただきました。次年度、牧野エレクトも一段ギアを上げられた事と思います。そして、大谷ガバナー候補におかれましては、この21日に地区ガバナー指名委員会が開催され、正式に地区承認される運びです。年末29日には、7分区の臨時会長幹事会を大谷ガバナーエレクトを交えて開催する予定です。これらガバナーに関する動きは、適時会員の皆様に報告してまいります。

さて、残す所半月となり、待望の雪も降ってまいりました。上越地方は、関山・中郷が積雪が多いようで、明日 OPEN ロッテアイランドリゾートにとっては、最良のスタートとなったと思われます。先日内覧に当クラブからも多数参加されておりました。私は高いホテルには無縁の存在ですが、ゴンドラを利用してのスキーは行こうと考えております。晴れた日には、遠く能登半島も望めます。施設は、充実しております。皆様もお出かけになり、国際交流に努めていただければ幸いです。

### 出席報告

出席率 98.25%

### ビジター



林 健一君 (第 2580 地区川西猪名川 RC 幹事)

### お客様スピーチ

林 健一君 (第 2580 地区川西猪名川 RC 幹事)

### セレモニー



2016-17 年度ロータリー財団  
寄付認証バナー贈呈

### 委員会報告

出席ニコニコ BOX 委員会

三井慶昭君——高田ロータリークラブのおひとりおひとりに感謝！

林 健一君——お世話になります。

米山奨学委員会——寄付のお願い

親睦委員会——12/22 クリスマス家族例会のご案内

### 幹事報告

配布物：週報No.20・2018-19 年度役員理事名簿・ロータリーの友 12 月号

回 覧：高田駐屯地広報「妙高」第 4 号

## 会員卓話 教育が変わる！！！！



渡邊 隆君

平成32年度大学入試から今まで全く違ったタイプの試験「大学入学共通テスト」が行われる。静かに、大胆に教育改革が行われようとしている。文部科学省のこの度の改革は本気だ。今まで義務教育課程において、いくつもの新しい提案がなされてきた。記憶をたどってみると、まず「生活科」「総合学習」そして「ゆとり学習」である。この間16年だ！1つの企画に、たったの5年だ。教育は計画し、実行し、そしてその結果を見ることが大切。そうしてみれば1つの企画には少なくとも10年は必要だろう。ちょっと早すぎないか？

これらの教育の施策は、いつも「中央教育審議会」という文科省の諮問機関の提案に基づいて、文部科学省が中心となりその具体案を作り実行に移す。これがパターンである。

もっとも最近の「ゆとり教育」は1996年；今からおよそ21年前に当時の中央教育審議会の「21世紀を展望したわが国の教育のあり方について」という答申に基づいて行われたものなのだ。その骨子の中で「これからの子供たちに必要となるのは、いかに社会が変化しようと、自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力であり、また、自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性である。」と述べている。

これが「ゆとり教育導入」のベースであった。「ゆとり教育」導入の背景には、1992年代のバブル崩壊、少子化問題、不登校などの社会的問題があり、それらの要因として詰め込み教育が批判された結果、中央教育審議会の提案に基づいた2002

年の教育改革；「ゆとり教育」の導入となったのだ。

週休2日、教育内容の精選が行われ、総合学習が導入された。それに対して社会は反発した。学力低下が叫ばれて私学、塾、予備校がそれに対して動き始めた。その結果、①大学入試は変わらず、②総合学習を現場に丸投げし③「ゆとり教育」に対する社会的要請が崩れていった。特に①と③は「ゆとり教育」失敗の大きな要因となった。

「ゆとり教育」導入以降の①雇用形態の変化（小泉構造改革）②グローバル化の進展（格差社会の到来）③ICTの急速な発展（AI時代）などの社会変化は、安倍政権の教育改革の社会的要請となっていった。

2020年の年の教育改革の骨子は、

①主体的で対話的な深い学び

②英語4技能の導入

である。

そして、その保証として三位一体の教育改革を目指している。

①大学教育、②大学入試、③高校教育

の三つを連携して改革することとした。それが高大接続である。

さらに、次のような学力の三要素を目的とすることとした。

①十分な知識・技能

②答えのない問題に自ら解を見出していく思考力、判断力、表現力

③主体性を持って多様な人々と協働する能力

この11月から②に対する模擬試験が実施され始めた。2020年を迎えて教育現場の混乱は避けられない。まさに、これから目が離せない問題である。

### 1月例会プログラム

回	日	講演者：演題	会場
23	1月5日	新年初例会<夜例会>	デュオ・セレッソ
24	1月12日	会員卓話：嶺村 俊之君	デュオ・セレッソ
25	1月19日	上越警察署長 中村 栄様 演題：未定	デュオ・セレッソ
26	1月26日	関根学園高等学校 荒井颯太君 古野 慧君	デュオ・セレッソ